

讓善謙勞

題字 勞謙善讓 揮毫 松山市教育会OB 勝田 昇 解説は3面



発行所
(公財)愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町1丁目5-33
エスポワール愛媛文教会館内
電話 (089) 945-8644
FAX (089) 945-1459
E-mail info@ehime-kyouikukai.jp

- (2) 学校紹介 明浜中学校
- (3) 地区教育会だより(四国中央ローカルトピックス)
- (4) (5) 特集「私の健康法」
- (6) (7) 特集「初任者の声」
- (8) ふるさとスケッチ



元愛媛県小学校体育連盟会長
愛媛県退職公務員連盟副会長
森 晴光

リズム正しい毎日を

日本人の平均寿命が八十歳を超えました。その中でも女性には二年連続世界一となっています。「人生五十年」と言われた織田信長の時代と比べれば、雲泥の差です。これは、生活習慣、食生活等の改善・進化のおかげでしょう。

よる食習慣の乱れを見ていると、果たして今の平均寿命が保てるだろうかと心配になってきます。特に、健康寿命(一人で毎日の生活ができる)の維持は困難になるのではないのでしょうか。

そこで、私は出来るだけリズム正しい生活を送ることを心がけています。

しかし、現代の生活等をベクトルとして続けていけば、平均寿命が伸びていくでしょうか。多くの人は首をかしげることでしょう。

私の一日のスケジュールは朝五時過ぎに起床、洗面後、「般若心経」の毛筆での写経(四十分前後、ヘタクソ)、前

現在の日本人の生活を考えると、食生活等の欧米化による肉食の普及や高カロリー食品の摂りすぎ、栄養の偏り等課題満載です。しかも、夜遅い就寝による睡眠不足からくる朝食抜き。生活の多様化に

日の日記の記帳(前日の記憶の確認のため)、脈拍(左右)の計測。六時半には、十分間のラジオ体操、録音しておいた「今日は何の日」の確認。七時前後に自分の役割のゴミ

- 出しと小学生の登校の指導。八時前に指導が終わり、帰宅後朝食。といった具合で、これが起床から朝食までの流れとなっています。
- 起床から朝食まで約三時間経っているので、朝食がおいしくて、つつい食べ過ぎて困っています。
- 夕方までは、非常勤の公民館やいろいろな会合に顔を出しています。また、時には猫の額ほどの畑で野菜作りをしたり、気心の知れた友と杯を傾けたりと気ままな生活を送っています。
- 体力は二十五歳前後をピークに下降し始めます。その体力の下降を出来るだけ緩やかにするための無理をしない方法を考え、健康寿命を延ばし、「ピンピン・コロリ」と一生を終えたいと考えています。
- 一略 歴(もり・はるみつ)
- 昭和43年 愛媛大学教育学部卒業
- 平成3年 愛媛県生涯学習センター指導係長
- 平成8年 上浮穴郡美川村立美川南小学校長
- 平成11年 愛媛県総合教育センター1教育相談部長
- 平成13年 松山市立みどり小学校校長
- 平成15年 松山市立余土小学校校長
- 平成17年 愛媛県小学校体育連盟会長
- 平成22年 松山市立余土小学校定年退職
- 平成25年 愛媛県退職公務員連盟副会長
- 松山市余土公民館長

響びょう聞きょう

四日は立春。「冬来たりなば春遠からじ」といわれるように、春を待つ気持ちにはどこかわくわくする希望がある▼最近、冬と春の言葉の起源を知った。冬は、自然の中の生命が「殖える」という「殖ゆ」からきた言葉だそう。冬の間、木々に芽吹いた生命はどんどん殖えてつぼみとなり、春を待つ。このつぼみはち切れんばかりに「張る」と、木の芽や花が開いて張ってくる。その季節を「張る」(春)と呼ぶようになったのだとか▼子供たちの成長もまた、この「殖ゆ」と「張る」に通じるだろう。それぞれの学年で学習したことを、一年の間にしっかりと蓄え身に付けていけば、木々がつぼみを殖やすように「できた」「わかった」感をたくさん持つことができ、それが成長のつぼみであり、そのつぼみがいつぱいになると一つ二つと花が開いていくのだ▼子供たちが自分色の花を咲かせ、希望の春を迎えられるように、教師は、厳しくも温かい「花さか爺婆さん」でありたいものだ。

ひとこと

「野本会」での出会いより



八幡浜教育会 会長 野本 益市

「野本さんは、校長先生だったということですが、えらそうにしないんですね」

或る会で、女性にこう言われたことがあります。

退職後の平成二十二年に、妻の關係で、市町村互助会のカナダ旅行に参加しました。旅行団員は二十二名で、県下各市町の消防署長、課長、看護師などを務めた方々です。

気分のよい者同士の仲のよい旅で、高峰や氷河、ナイアガラの滝に感動しました。

旅行中、ロッキーマウンテンのホテルで、何と、教え子に出会い、私が元教員で校長だったことが皆に知られたのです。

帰国後すぐに開いた反省会で、毎年夏にこのカナダ会を開くことを決定。私が会長に指名されました。その会の席

に出た、冒頭の言葉が影響しているようです。さらに、次は団員皆でヨーロッパへ行こうと決まりました。

しかたありません。私が企画して、平成二十二年に、イタリア、フランスを回りました。この時、会の名称は「野本会」に変わりました。

以後も、毎年、和気あいあいの「野本会」は続いていきます。二十六年には八幡浜で魚料理を食べたり、二十七年には会員がいる中島で開催したり。

松山で「フレンチにワイン」の会を催したこともあります。話は、ここからです。

世間の人は教員を、私たちが自身の考えとは別の目で見ているかもしれません。

「わしを知らんのか」とか、「自分は大校長だった」とか言って、ひんしゆくを買った方がいると聞いたことがあります。

評価は自分でするものではなく、人がするもの……これを自明の理として、心して生きていきたいものです。

さて、今年の夏の「野本会」の会場は松山。フレンチカイタリアンか、心が弾みます。

学校紹介

No.166

西予市立明浜中学校

自然に学び、人に学び、共に生きる

本校は、平成十五年四月一日に明浜東中学校と明浜西中学校が統合して、今年度十三年目を迎えた全校生徒六十名の小規模校です。校訓を「自然に学び 人に学び 共に生きる」とし、「学びと共生」をキーワードに、地域と密接に連携した教育活動を展開しています。

二年生の総合的な学習の時間では、「伝統文化」をテーマに、県無形民俗文化財「俵津文楽」別称「すがわら座」を題材に学習を進めています。

「俵津文楽」は、嘉永五年（一八五二年）に、若者の情操教育の一環として、大阪より人形を買い入れて人形芝居を行ったことから始まったと言われています。昭和四十年代には、後継者不足のためやむなく一時休座に至ったこともありましたが、人々の熱い思いで今日まで続いています。

まず生徒たちは、「すがわら座」の再興に関わった人や



から自分の生き方について考えるようになりました。

伝統芸能への地域の人々の思いを学びます。そして、俵津文楽の練習に取り組んでいきます。三人一組で人形を動かすのですが、始めはなかなか思うように動きません。太夫の語りの言葉の意味も分からないので、何度もビデオを見ながら、見よう見まねで練習を進めていくのです。そして、文化祭。文化祭では、三人が心一つにして順番に文楽を演じました。伝統芸能を継続していくことの苦勞と喜びを肌で感じた生徒たちは、そこ

今年度から、小学校も統合され明浜小学校となり、一小一中となりました。ますます地域の学校としての重要性が高まっています。これからも地域とともに生きる学校として、地域の期待に応えていきたいと思えます。

(教頭 堀内 良之)

題字に寄せて

ろうけん せんじょう
勞謙 善讓



松山市教育会
OB
勝田 昇

住岡夜晃が、学生が社会に旅立つとき、よくこの話を色紙や短冊に書いて渡した。語の意味を色々調べた。

中村元著、佛教語大辞典に「勞謙」 勞して功を誇らないこと

とある。「善讓」は見当たらない。

住岡夜晃の「大無量寿経講義」にこの語があるが、直接の説明はない。前後の文脈から、次のような意味である。

「他の為に進んで苦勞し、その功は誇らない。善いことは他に譲る。」

教育者(教育公務員)の日々のスタンス、座右の銘に相応しい心志であろう。

地区教育会
だより

四国中央教育会
教育会だより



四国中央教育会
会長
山中 義彦

四国中央教育会は、平成十六年の市町村合併に伴い、川之江、伊予三島、宇摩の支部を母体として、平成十八年に四国中央支部として発足した。その後二十四年に名称変更し現在に至っている。十七年度の会員数は、現職四八五名、OB三三〇名の合計八一五名である。

四国中央教育会は青少年健全育成活動、各校区単位の日常活動、囲碁大会、教育文化講演会、研修旅行、児童生徒現職OB会員作品展、えひめ教育月間関連活動などを実施している。これらの活動のうち教育文化講演会および研修旅行について紹介する。教育文化講演会は、毎年夏



季休業中に愛教研と共催で実施し、多数の会員が参加して好評を得ている。本年は中国人で本市に在住の劉曉君さんを川之江文化センターにお招きし、講話を拝聴した。先生は三〇年間に及ぶ日本での生活並びに二人の子育ての経験を熱く語られ、私たちに多くの示唆を与えてくださった。研修旅行は、十一月七日(土)に実施した。今年は世界文化遺産で国宝の姫路城を見学した。大修理を終えた天守閣は雄大な姿で私たちに迫ってきた。内外の観光客で混雑していたが、天候に恵まれ良い思い出となった。

ローカルピククス

椿一輪展

椿一輪展は、毎年三月第一週の土・日曜日に石鎚山ハイウェイオアシス館、椿交流館、椿ハウスで開催されます。小松地区では藩政時代から椿愛好の気風が育まれてきました。昭和六十年に旧小松町は町花を椿に制定し、老人の生き甲斐づくりを目的に椿栽培事業を発足させました。以来、椿一輪展、町内の椿の名花の発掘、石根小学校児童との篤山椿挿し木活動、椿ハウスオープン、椿千年の森事業、椿カレンダー制作、椿油製油などの活動を展開、継続してきました。現在この活動は老人クラブから小松つばき会に引き継がれています。

椿一輪展では、小松つばき会の皆さんが丹誠込めて育てた約二百種の椿の鉢植えや椿一輪の展示・販売などを行っており、毎年椿を愛する多くの人々に賑わいます。また、椿ハウスには篤山椿や小松姫や小松紅など地元独自の椿が



白、ピンク、赤と上品な花を咲かせ、来館者の目を楽しませてくれるのです。

ハウジング事業のご案内 学校生協

学校生協がハウジングメーカーと提携することによって、学校生協組合員のライフスタイルを応援させていただきます。新築・マンション・リフォーム等、11社のハウジングメーカーと提携しております。詳しくはホームページをご覧ください。

お問い合わせは
愛媛県学校生協同組合連合会
電話 (089) 925-0555
または 郡市学校生活協同組合

愛媛県学校生協ホームページ
<http://www.ehime-gakuseikyou.jp/index.jsp>

文教月報編集協力委員
西条教育会OB 菅 千代子

特集 私 の 健康法

十一年前の痛みを 忘れずに



中南海頭 野本 和則
松山市教員

勤務時、上靴で校内を歩いていると、どうも足の親指の付け根の部分が痛い。靴のサイズが小さいからだろうかという程度で何日間か過ごしていたが、家でふと見ると、大きく真っ赤に腫れ上がっている。あつ、これが痛風か？慌てて受診すると、やはりそうだった。

医師から十キロ体重を落とすように指導された。尿酸値を下げないと早死にすることも。妻に協力してもらい、朝は、キャベツ、コーヒール、食パン一枚。給食は控えめに。夕食には必ずキャベツを先に食べるから他のおかずを口にするようにし、満腹中樞を満たすようにした。そして、空腹になつたら水を飲む。朝食前に愛犬の散歩を十五分。夕食後に三十分歩く。この習慣を一

年間続けると体重は十三キロ減量した。目標達成。

それ以後も日常生活で心がけてきた私の健康法は、

一つ目は、七品目「まごはやさしい」の頭文字のつく食品である豆、ごま、ワカメ、野菜、シイタケ、芋を中心に調理してもらい食べる。

二つ目は、週二回スポーツジムで有酸素運動をして汗を流し、血行をよくする。土・日三キロメートルずつの歩行と十キロメートルのエアロバイク走行。筋トレで身体に負荷をかけて快眠につなげる。

三つ目は、先を見通して仕事をやる。身体を動かすことを億劫がらない。自分に課題を持ち、熱意を持ち続ける。少しぐらいのことではクヨクヨせず、気持ち切り替え、早起きをして朝日を思い切り浴びる。

あれから十一年、今のところ痛風の再発は免れている。あの痛さの記憶が徐々に薄れがちだ。もう一度気を引き締め、今の健康を維持し、生活の向上を求めていきたい。

昆布大好き



伊予教育会 OB 住田 鈴

私が生まれて五歳まで住んでいたのは大阪港の近くでした。

その頃、北海道から「昆布舟」という、だし昆布からいろいろな昆布の食品をのせた船が、定期的に入港していました。

「今日は昆布舟が来るよ」と近くのお母さんたちと一緒に港へ行き、だし昆布から昆布のつくだ煮、昆布飴、おぼろ昆布など、いろんな昆布を見て買うのが楽しみでした。母と祖母が大きなはさみでパチパチと昆布を切って佃煮をよく作っていました。

私は昆布を切って酢につけて食べるのが好きでした。

戦争が始まり、甘いおやつが少なくなりました。小学生の頃でした。お風呂に入る前に酢昆布を作っておくと、酢と少しの砂糖が昆布に染み込んでとってもおいしかったものです。

お正月のお煮しめにもよく

使っている頃も、昆布の料理はよく作ってきました。友達が「あなたはよく昆布を食べてきたから、今でも髪が黒いよネ。」と言います。

ところで、私は酢のものも好きですが、毎日の献立にもよく酢を使ってきました。酢は「スタミナの酢」と料理の先生から言われていたので、料理にもよく酢を使ってきました。私の得意料理の一番はおすしです。八十八歳まで五大家族の食事作りをしてきましたが、孫たちが帰省してくると「ばあちゃんのちらしずしが食べたいね。」と言うので、よく作っていました。

大きな「はんぼう」に色とりどりの具を入れて作るのが楽しみでした。幼稚園に勤めていた頃も「おたんじょう日会」では、私のちらしずしが定番のメニューでした。

なつかしいなア。現職主婦だったあの頃。昆布と酢、今でも大好きで、私の健康の源です。



私の健康法



上浮穴教育会 OB 橋本 礼子

学生の頃からスポーツは好きだったが、選んだ部活動は一度もブレずコーラス部。そんな私が早期退職、介護生活を経て、先輩方の有難いお誘いを受けて待望の楽しい活動に参加しています。

週一回の体操、月二回の太極拳、週一回のヨガを含む体づくり活動。それらに共通する大切なことを私なりに学んでいます。

第一に呼吸法。下腹部が膨らむほどの息を吸い、ゆっくり長く吐き出します。簡単そうですが手、足、頭にはそれぞれ動きがあり、気付けば無呼吸症候群の状態になり、正しい呼吸ができません。

第二に動作。動作には緊張と弛緩があり、それらをうまく組み合わせることで血液などの循環が良くなり、凝りや老化などを防ぐことができるようです。私の首肩はずっと緊張して過ごしてきたように、左右確認がしづらかった

のです。今は意図して脱力もしていません。

活動を始めて数年。どの運動も続けていけるのは、友人との会話が楽しく、失敗も皆で笑い合える仲になっているからです。有難いことです。そして何より指導してくださる三人の先生方のお人柄が素晴らしいことです。

出席者が少ない日も、いつもの笑顔で松山から来ていただけです。

「人と比べなくていいよ。自分ができるところまで頑張つて。無理し過ぎないように。」と私たちをホッとさせる温かい言葉がけに、先生方のような人になりたいなど、心身共に健康を目指しています。

夢 旅



愛大附属特別支援学校 副校長

渡邊 恵理

健康とは、心にも体にも栄養をたっぷり与えてくれるもの、元気を与えてくれるもの、すれば、私の健康法は、「好きなことをする」である。具体的には「旅をする」ことである。

旅には、新しい発見や自然・人との出会いがある。雄大な景色を作り出す地球の偉大さや、その土地特有の生活感を味わうことができる。私にとつてわくわくする一番好きな時間である。

例えば、「合掌造り」。茅葺き屋根の葺き替えは二十年おきとも三十年おきとも言われているが、住民総出で行われる。それは、文化を保全し、次の世代に技術をつないでい

祝 受章おめでとつございます

◆瑞宝双光章（高齢者叙勲）

- 菊池 昭二様 88歳 元八幡浜市立松柏中学校校長 八幡浜市
- 山内 善行様 88歳 元喜多郡内子町立内子中学校長 内子町
- 宇都宮和市様 88歳 元松山市立和気小学校長 松山市
- 栗上 修二様 88歳 元北条市立北条南中学校長 松山市
- 都築 辰藏様 88歳 元西宇和郡保内町立宮内小学校長 八幡浜市

健康に感謝



東温市教育会 OB 山本アツ子

くという取組である。そう聞くと、この山里で暮らす人々の互助制度のすばらしさを感じる。それから、「隅田川の桜」。隅田川沿いは、春になるとたくさんの花見客が訪れる。歴史は、徳川吉宗が桜を植樹したことに始まる。桜の満開の時期に多くの花見客が来て土を踏み固め、川の氾濫を防いだ。花火大会も、これに一役買ったとか。その時代の人の知恵を感じる。

九十歳がすぐそこ。未だ医者通いをしていない私に「お手本にします。」と皆さんが言うので、尋ねて「健康法は？」と尋ねてくださいます。別に心した事として、至って自然体で生きてきました。

EMは物を腐らせるのではなく、発酵させる抗酸化性です。私の体もEMのお陰で酸化を防ぎ、さびないでピカピカに輝いているのかも知れません。

積立年金制度

明治安田生命は、みなさまのよりよいコミュニケーションづくりに全力をつくしてまいります。

(制度引受幹事会社)

明治安田生命

四国公法人部 〒760-0017 高松市番町1-7-5
法人営業部 TEL087-821-6811

灯がともる

特集 初任者の声

平成二十七年年度小・中学校新規採用教職員は合計百三十一人でした。内訳は、小学校八十三人、中学校四十八人で、教諭が小学校六十三人、中学校四十人、養護教諭が合計六人、栄養教諭が合計一人、事務職員が合計二十人です。

教員生活一年目が過ぎようとする現在、不安を乗り越え、教育現場で若さのもつ熱い思いと活気をみなぎらせています。教育会には一名を除き全員が入会し、若い息吹を吹き込んでいます。

ともに成長



金子市論 熊本 英樹
新居浜市教諭

四月から教員生活が始まり、すべてが初めて経験することばかりだった。そして迎えた初めての学級開き。子どもたちのまぶしい視線が今でも鮮明に思い浮かぶ。そこからの毎日は、何をすればいいのか、考える暇もなく八か月間を過ごしてきた。

しかし、その怒濤のような日々の中でも、四月から欠かさず続けてきたことがある。それは、朝のあいさつ運動である。朝一番に子どもたちの顔を見て行うあいさつほど気持ちのよいものはない。体調が悪い時やしんどい時でも、子どもたちのあいさつから毎日元気をもらっている。自分の学級の子どもたちは、正門で私の顔を見ると駆け寄ってきてハイタッチをしてくれるのだが、子どもたちの手のぬくもりを肌で感じることで、一日頑張るぞという気持ちにスイッチが入る。

十二月、初めての研究授業をさせてもらった。二か月以上前から準備をしていたものの、当日になると緊張してしまい、不安ばかりが頭をよぎった。しかし、私の目の前にいる子どもたちはとてもリラックスしており、緊張している私を励ましてくれていたかのようだった。この時、この子たちと出会えて本当に良かったと心から思った。

これから先、苦しいことも多く経験するだろう。そんな時でも、目の前にいる子ども

たちと向き合いながら、ともに成長していきたいと思う。

出合いに感謝!



中西大論 高橋 知子
今治市教諭

七時四十五分、来島ドックのラジオ体操の音楽を聞きながら生徒と挨拶を交わし、私の一日は始まります。様々な指導をしてくださる先輩の先生方や明るい生徒たちに囲まれて教員生活を送ることができ心からうれしく思います。

しかし初任者としての日々を振り返ると、反省点ばかりです。毎日の授業準備や部活動での指導、校務分掌等、全てが中途半端に終わってしまっているような気がしてなりません。私自身が嫌になり悩むことも少なくありません。そんな中でも、生徒が楽しそうに英語を話す顔や、部活動で精一杯汗をかき活動している姿を見るたび「よし! もうひと頑張り!」と自分の方が励まされます。夢だった教員になることができ、本当に幸せ者だと改めて思うのです。

何一つ秀でるもののない私にとって、人との出合いだけが

は本当に恵まれていると感じています。時には生徒を強く指導したり、生徒と衝突したりすることもありますが、それらの出来事から私自身学ぶことが多い、生徒と一緒に成長していきたいと強く感じています。

全ての出合いに感謝しながら、今日の前にいる生徒たちと真剣に向き合い、いろいろな事を学んでいきたいと思えます。初任者研修も残り少ないなりましたが、私の教員生活は今始まったばかりです。いつまでも初心を忘れず、謙虚な姿勢を大切に、生徒と共に成長できる教員を目指し精進していきたいです。

支えてくれたもの



小岡論 丸山 大輔
松前市教諭

「どの季節が好きですか。」と聞かれると、以前は「春」と答えていた。だが、いつからかそうではなくなりました。忙しく仕事に向かうと同時に、常に採用試験というプレッシャーが付きまわっていたから。そんな中、とうとう教諭として教壇に立つ日が来た。

教諭としての新しい生活が始まったが、日々の学級経営に加え、出張や研究授業、研修と、講師の時とは違う忙しさに追われた。しかし、そのような中だからこそ気付いたことがある。それは、自分には多くの人に支えられているということだ。

初任者研修で、未熟な私たちを手厚く指導してくださる先生方。教わったことは授業の柱になっている。研究授業の際、自分のことのように一緒に考えてくださった学年部の先生方。将来、自分は後輩に対してここまでできるのかと心配になるほどだった。中でも自分の支えになったのは、週一回の初任者指導の先生との研修である。私がどんなにつたない授業をしても、先生はいいところを見つけてくださる。日頃の悩みを親身になって聞いてくださる。初任者として、理想と現実につきまらず自分の道標になったださっているのだから。

もうすぐ、初任者としての一年が終わる。たくさん先の先生方に支えられて身に付けた力を、子どもたちに返すのが私の役目だ。

次の春には、これまでとは違う景色が見えるはずだ。

今、夢の 始まりに立って



松山市南第二中
教諭 片山 信吾

現在、私は一年生の学級担任をしています。分からないことばかりで、慌てる毎日ですが、先輩の先生方、時には学級の生徒に助けられながら、日々学ばせていただいています。色々な生徒と関わる中で、教師という職の楽しさと苦しさを感じています。

九月の体育大会では、うれしいことがありました。学級の生徒三十二人全員で挑んだ縄跳びが、学年の団体種目で一位を取ることができました。優勝はできませんでしたが、学級の生徒が声を掛け合って、力を合わせて頑張る姿が輝いていて、私はとても感動しました。体育大会を終えて、以前よりも、学級の「絆」が深まったと思います。ある生徒の「体育大会新聞」には、「入賞はできなかったけれど、最後は三十三人笑顔で終われたので、よかったです。団体で一位になった時、今までやってきてよかったです。

なあと思いました。」と書かれていました。生徒の頑張りと努力に本当に感謝したいです。私は今、「夢の始まり」に立っています。憧れの中学校の教師になったことは、ゴールではなく、スタートなのだと感じています。色々と失敗の多い毎日ですが、中学校の教師として何事も諦めず、粘り強く取り組むことの大切さを、生徒に伝えていきたいです。

私は教師として未熟であり、一人前の教師にはまだほど遠いと感じています。少しでも先輩の先生方に近付けるよう、生徒への情熱と素直な気持ちをもって、これから一層の努力をしていくつもりです。

子どもたちとともに



八幡市喜須木小
教諭 尾下 彩

「おはようございます。」どんなに疲れを感じている日でも、朝子どもたちの笑顔とこの声で、すぐに元気になれる。子どもたちの笑顔と明るい声は、私の元気の源である。

恩師に憧れ、教師を目指し、やっと夢を叶えることができただけの喜びと、その責任や不安を感じながら始まった一学期。やるべきことの多さに驚き戸惑いながら、毎日があつという間に過ぎ去って行く。そんな日々の中、「どうしたらもっと分かりやすい授業ができるのだろうか」とか、「子どもたちにとつて、私はよい指導ができているのだろうか」とか、迷いや不安でいっぱいになることがある。それでも、前を向いて進んでいけるのは、先生方が支えてくださっているからだ。お忙しい中でも、授業や指導のアドバイスをしてくださるおかげで、少しずつ不安が解けていく。先生方からいただいた言葉やアドバイスを自分の力に変えて、子どもたちに返していきたい。

日々の生活の中で、一つの行事をやり遂げた後の子どもたちの成長を感じると嬉しさが増す。まだまだ、私にはできないことがたくさんあるが、今できる一番の方法で子どもたちに向き合っていきたい。そして、子どもたちとともに考え、ともに成長する教師でありたいと思っている。

感恩戴徳



宇和島市東城中
教諭 松崎 太一

「じゃないのか」など悩むこともありました。しかし、その度に、素直な生徒たちと、優しい先生方、そして温かい宇和島の人たちに助けられ支えていただき、今に至っています。

私は本当に、周囲の方々に恵まれていると思います。今も大変なのは変わりませんが、楽しく、充実した毎日を送らせてもらっています。お世話になった全ての方々のご恩に報いることができるよう、謙虚な気持ちと教育への情熱を常にもって、職務に邁進していきたいと思っています。

自動車保険大口団体割引のおすすめ 学校生協

学校生協組合員様は、現在ご加入の自動車保険無事故割引から10%割引、一括払でさらに5%割引になります。

保険料のお支払いは給与引去となります。

教員OBの方も口座振替（一括払）していただくことにより10%の割引が適用されます。

— 引受保険会社 —

- （東京海上日動火災保険（株）
- （三井住友海上火災保険（株）
- （損害保険ジャパン日本興亜（株）

— お問い合わせは —

愛媛県学校生活協同組合連合会

電話 (089) 925-0555

または 郡市学校生活協同組合

ふんさとスケッチ

No.386

笠松山を彩る
コバノミツバツジ



今治市朝倉小
校長 越智 誠

笠松山は、平成二〇年八月の山火事で一〇七鈴を焼失しました。しかしその後、登山道が整備され、四国山脈や眼下に広がる美しい景色を楽しむこともでき、多くの人に親しまれています。朝倉小の子どもたちは、笠松山に遠足で登ったり、卒業

記念としてコバノミツバツジを植樹したりしています。子どもたちが登山道沿いに植樹したコバノミツバツジは、三月下旬から四月頃に紅紫色、淡紫色の花を咲かせ笠松山を彩ります。



ご冥福をお祈りします

井上 孝行様	84歳	松山市南久米町七三	27
渡邊以都甫様	80歳	今治市延喜甲四九二二四	27
越智 龍男様	93歳	今治市東村五二一〇	27
上甲 昇様	92歳	宇和島市神田川原三	27
岡野 勝敏様	93歳	大洲市白滝甲三九八一	27
水口 敬様	87歳	伊予市上三谷八三二一	27
平田キクミ様	86歳	大洲市新谷町甲三〇六	27
定永 幸子様	84歳	新居浜市萩生二八二三	27
近藤金三郎様	92歳	新居浜市土橋一三二五	27
山本 弥栄様	89歳	八幡浜市八代人加志	27
清家 高志様	60歳	松山市久万ノ台三九一八	27
後藤 雅昭様	80歳	四国中央市金生町下分一七三三	27
高井 吉雄様	93歳	大洲市菅田町大竹甲三七九	27
上田 武文様	89歳	大洲市八多喜町甲三〇三三	27
上杉テロ子様	91歳	西予市宇和町卯之町一七七一六	26

文教俳句

一俳句ポストより

年賀書くにぶりて乱る八十路筆
褒められてうれしさの増す菊の花
教室に寒菊活ける教師かな

内子町 小野植元 幸
西条市 高橋 和
伊予市 井手窪 理

お知らせ

◆「俳画・水墨画教室」の活動について

愛媛県教育会「俳画・水墨画教室」は、大倉可貴先生のご指導の下、十名の受講生で活動しています。

毎月二回（第一・第三水曜日の午前十時〜十二時）和気あいあいの雰囲気の中で作品制作に頑張っています。完成した作品は、文教会館のロビーに展示してありますから、どうぞご覧ください。興味のある方は遠慮なく、左記までご連絡ください。

【お問い合わせ】

愛媛県教育会事務局
(公)〇八九・九四五・二五二二

◆俳句ポストへ
投句しませんか？

文教会館ロビーに、俳句ポストを設置しています。文教月報への投句は、専用の投句用紙でこの俳句ポストへ投函していただいてもよいし、はがき、メールでも応募できます。是非、ご応募ください。入選句(者)は、会館、文教月報、ホームページなどに掲載します。

◆図書室から

文教会館図書室では、教育関係図書、児童生徒用図書、教育会関係資料、句集等を自由に閲覧、貸出が出来ます。



俳画・水墨画教室
三好 靖子 作

新登場！！

「備えて安心プラン」好評募集中！！

(医療保険基本特約・疾病保険特約・傷害保険特約・がん保険特約セット・団体総合保険)

- 愛媛県教育会ならではの団体契約専用プラン (団体割引10%適用)
- 介護一時金、先進医療等費用補償、がん診断保険金など突然で高額な出費に対応する充実の補償
- ご自身のみならず、親の介護まで補償(オプション)

ご興味のある方は、愛媛県教育会 福利厚生部までご連絡ください。

松山市祝谷町1-5-33 エスポワール愛媛文教会館内 Tel:089-945-8644



損害保険ジャパン日本興亜株式会社

SJNK15-13946 2016/1/5

教育積立預金「愛情」

お子さまの成長に合わせて金利も成長！
お子さまの未来のために積立をはじめませんか？

「愛情」の3つのポイント！！

- ステップアップ金利**
おまとめ日を経過する毎に金利を段階的に上昇せ
- 教育ローンの金利がお得**
教育ローン金利が店頭表示利率から引き下げ
- 入学一時金受取システム**
ご希望により一時金として一部お引き出し可能



●詳しい内容・お問い合わせはお近くの(いよぎん)の窓口または
いよぎんテレホンセンター ☎0120-64-1414

受付時間/9:00~20:00(銀行休業日は除きます)

Challenge & Smile

伊予銀行

(平成27年2月1日現在)